

三浦教育振興財団奨学生並びに関係者の皆様へ

2021年4月12日

奨学生の皆さん

現在、世界中の人々が直面している新型コロナによる世界的感染拡大という困難な状況下で、我々の国（カナダ）がどのように危機対応をしているか述べたいと思います。

このパンデミックによって、ほとんどのカナダの州は今現在も封鎖（shut down）されており、経済を維持するために最低限必要な業種と機関（病院、スーパーマーケット、その他の必要な産業等）だけが活動を許されています。

この封鎖は、病院の医療崩壊を防ぎ、命を守るために実施されている州全体の外出禁止令と緊急事態宣言によるものです。この状況は、少なくともわたしがこのレターを書いている一ヵ月先も続いていることですが、この封鎖によって、国民へのワクチン接種のための時間を稼ぐことができ、この地域におけるコロナ蔓延の歯止めになることを願っています。私たちは連日コロナによる様々な問題の中で、感染から国民を守るために対応している政府の規制や政策に翻弄されていますが、このパンデミックにうち勝つためには、政府主導による如何なる規制や新たな医療制度基準を理解し、それに従うことが重要になってきます。

カナダではワクチンの供給により、少ずつではありますが希望の兆しが見え始めました。これから4週間のうちに、多くの国民が2回投与のうちの1回目のワクチン接種を受けることになるでしょう。また、もうすぐ教職員や学生が一度目の接種を受けられるという話も耳にしました。これにより若年層からの感染拡大も抑制されるはずです。

この一年余り、カナダにおける多くの学生は学内授業に代わってオンラインで授業を受けてきました。これは彼ら学生達にとって新たな試練となっています。そんな中、三浦教育振興財団が、奨学生の皆さんのネットワーク整備のために、奨学金による追加支援を実施したことを知りました。このことは私にとってこの上ない喜びでした。

皆さんもきっとカナダの学生と同じような問題に陥っていることでしょう。そしてこれまで当たり前のようにできていた友人や家族に会うといったことが、今日では難しくなってしまうかもしれません。しかし、わたしはこのような状況に対しては、現在までフェイスタイムやワッツアップ、フェイスブックなどの新しいテクノロジーを駆使することで、この問題を克服できています。このようなことは30年前には不可能でした。困難な状況とはいえ、数年前には思いもつかなかったような今日の技術の中で生きていることは、なんとも素晴らしいことだと思いませんか？

さて、カナダは、さまざまな国から来た人々が住んでおり、人種のモザイクと言われ、それはすばらしく興味深いカナダの一つの文化となっています。三浦教育振興財団で選ばれてカナダに来られる皆さんは、これらに触れることで、日本に戻った時には、新たな知識の幅を広げられているのだと思います。世界中から多くの学生たちがカナダに留学し、またそれぞれの国に帰っていきます。彼らすべてが、自国に帰った時には周りの人に学びの紹介ができるくらいのすばらしい経験をしていることでしょう。

世界中がパンデミックで苦しんでいるさなか、学生の皆さんも卒業や就職活動に対して、ストレスを感じ、心配されていると思います。しかし、現在コロナで大変な状況下だからこそ、落ち着いて考え、パンデミックであるがゆえに我々には開かれた機会があることに気付くことが重要なのではないのでしょうか。

わたしは、「一方のドアが閉じれば、思慮深い人にとっては同時に別の機会が開かれるのだ」という言葉を信じています。

これまで多くの方が人生で大変な経験をしてきたことでしょう。なかには想像を超えるような困難を経験した人もいます。わたしの人生経験を通して体得した以下の言葉が、コロナ後の新しい世界を生きる皆さんを勇気づけることができれば幸いです。

- 1 成し遂げたければ始めることです。
- 2 狙いを定めるだけでは不十分です。成功したければやり抜くことです。
- 3 世代を超えた最も偉大な発見は、人は考え次第で人生を変えられるということです。（前向きに考えましょう。）
- 4 人生に良い、悪い、はありません。考え方ひとつで結果は変わるのです。

では、このパンデミックが早く終わることを願って、日本の学生さんたちに次の言葉を送ります。

1. 人には親切にしましょう。
2. 短所を長所にしてください。
3. いかなる問題に直面しても、良い部分を探し、より良くしてゆきましょう。
4. 継続は才能に勝るのです。
5. 最後に、これまで苦しい時を乗り越えてきた家族の言葉に是非耳を傾けてみてください。あなたの家族こそが、よき理解者であり最大の助言者なのです。

これまで何年にも渡っておいで頂いていた奨学生の皆さんと会えないのは、妻のバーバラとわたしにとって非常に残念なことです。我家は皆さんがカナダで訪れる最初の家庭であり、私たちはカナダの文化を皆さんに紹介できることをうれしく感じていました。それは皆さんにとっては、ゆっくりとバーベキューや食事を楽しみ、特に、我々カナダ人の生活スタイルや時の過ごし方を知る良い機会だったでしょう。

いつか、またおいでいただく日が来ることを祈っています。

バーバラとわたしはスポーツ好きなので、今夏、日本でオリンピックが開かれることを聞き、これを通して日本の文化に触れることができることを楽しみにしております。私個人はこれまでに日本に行ったことがあります。またいつか妻と二人で日本を訪れ、皆さんと会えることがあればと思っています。

これから新しい人生を歩む皆さんの心に、私を幸福にしてくれたこれらの言葉が届き、成功へとつながることを願っています。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

Stephen and Barbara Foster
Supporter of the Miura Educational Foundation